

# 財政健全化計画の進捗状況

「財政健全化計画」は、市のまちづくりに対応できる財政体質を確立するため、「歳入の確保」および「歳出の抑制」について、目標を設定し、その達成に向けて取り組むべき課題を定めたものです。

なお、計画期間は平成20年度から平成23年度までの4年間で、年度ごとに課題の進捗を公表します。今回は、平成21年度の進捗状況をお知らせします。

## 主な会計の進捗状況

1. 一般会計
  - 職員人件費や特別会計への繰出金については削減が進みましたが、市税収入は景気低迷により減収となり未達成、また使用料・手数料の滞納整理などについても未達成であったことから、今後、市税や使用料・手数料などの徴収率向上を図るとともに、経常経費の抑制に努め、健全化を推進します。
2. 国民健康保険事業特別会計
  - 被保険者数の減少に伴い医療費の総額が減少したことや、高齢者医療に対する交付金などの財源拡充が図られたことにより、国保財政の健全化が進みました。しかし、不測の事態に備えるため、一般会計から財源補てんを受けて基金の新規積立を行いました。今後も、安定的な運営を図るため、計画的に基金の積立を行います。
3. 下水道事業特別会計
  - 業務の効率化や合理化で職員人件費を削減したことや国の公債費負担対策制度を活用したことから、一般会計繰入金が目録以上に削減できました。しかし、下水道使用料の滞納額の削減については未達成であったことから、納付指導の強化などにより健全化の推進に努めます。

※前ページ(ア. 歳入の確保②)の続き

項目	達成状況	目標額	実績額	目標額との差	目標額と実績額に差が出た理由など
温泉使用料の滞納額の削減	未達成	960万円	1,140万円	180万円	厳しい経済状況により、新たな滞納世帯の発生や、大口利用者である旅館の滞納などから、目標額に比べ180万円削減が進みませんでした。納付指導や給湯停止などにより滞納額の削減に努めます。
下水道使用料の滞納額の削減	未達成	3億4,290万円	4億3,340万円	9,050万円	厳しい経済状況により徴収が滞ったことや、大口利用者の滞納が新たに発生したことなどにより、目標額に比べ9,050万円削減が進みませんでした。納付指導の強化などで滞納額の削減に努めます。

③未利用財産の売却処分(増加指標：増額の場合は達成) ※数値は平成20年度からの累計額

項目	達成状況	目標額	実績額	目標額との差	目標額と実績額に差が出た理由など
市有地の売却	達成	8,600万円	1億1,800万円	3,200万円	継続的に公売物件の売却などを行ったことにより、目標額を3,200万円上回りました。

④国民健康保険税の基盤強化(増加指標：増額の場合は達成)

項目	達成状況	目標額	実績額	目標額との差	目標額と実績額に差が出た理由など
国民健康保険税収入の増収	未達成	33億7,600万円	27億600万円	△6億7,000万円	医療制度改正に伴い、後期高齢者医療制度へ移行した75歳以上の被保険者分が減収となったことや、景気の低迷によるリストラや派遣切りにより収入が減少したことなどから、目標額に比べ6億7,000万円減収となりました。督促状や催告書の送付、納税指導などで滞納額の削減に努めます。

⑤下水道使用料の見直し(増加指標：増額の場合は達成)

項目	達成状況	目標額	実績額	目標額との差	目標額と実績額に差が出た理由など
下水道使用料収入の増収	未達成	14億8,200万円	12億7,700万円	△2億500万円	平成21年度使用料改定の上げ幅を計画策定時より緩和したことや、景気低迷による観光客数の減少や一般家庭の節水意識の向上などによる有収水量の減少などから、目標額に比べ2億500万円減収となりました。納付指導の強化や未接続世帯への接続斡旋などで普及を促進し、今後も使用料の増収を図ります。

## イ. 歳出の抑制

①職員人件費の抑制(削減指標：減額(△)の場合は達成)

項目	達成状況	目標額	実績額	目標額との差	目標額と実績額に差が出た理由など
職員人件費の削減	達成	83億5,300万円	79億2,000万円	△4億3,300万円	定員適正化計画に沿って順調に職員数削減が進んだため、目標額に比べ4億3,300万円削減が進みました。

②公債費負担の軽減(削減指標：減額(△)の場合は達成) ※数値は平成20年度からの累計額

項目	達成状況	目標額	実績額	目標額との差	目標額と実績額に差が出た理由など
普通会計の公債費の削減	達成	△3,300万円	△3,500万円	△200万円	借換債の借入利率が0.5%前後(当初見込み2.0%)であったことから、目標額に比べ200万円削減が進みました。

《各課題の進捗状況》 ※実績額1,000万円以上のもの

### ア. 歳入の確保

①税基盤の充実(増加指標：増額の場合は達成)

項目	達成状況	目標額	実績額	目標額との差	目標額と実績額に差が出た理由など
市税収入の増収	未達成	146億6,600万円	143億8,300万円	△2億8,300万円	厳しい経済状況により市民税が落ち込んだことから、目標額に比べ2億8,300万円の減収となりました。督促状や催告書の送付、納税指導、滞納処分などを行い、滞納額の削減に努めます。

②使用料・手数料などの滞納整理と徴収率向上(削減指標：減額(△)の場合は達成) ※目標額・実績額は滞納調定額

項目	達成状況	目標額	実績額	目標額との差	目標額と実績額に差が出た理由など
保育費扶養者負担金の滞納額の削減	未達成	1,210万円	1,570万円	360万円	支払いの滞りや完納誓約どおりに支払われない例が多くあったため、目標額に比べ360万円削減が進みませんでした。納付指導の強化などにより滞納額の削減に努めます。
市営住宅使用料の滞納額の削減	未達成	4,410万円	5,260万円	850万円	厳しい経済状況により滞納分が分割支払いになったことなどから、目標額に比べ850万円削減が進みませんでした。督促状や催告書の送付、悪質滞納者への明け渡し請求、裁判所への支払督促申立などにより滞納額の削減に努めます。
住宅新築資金等貸付金の滞納額の削減	未達成	7,980万円	8,540万円	560万円	借受人の高齢化などにより徴収が滞ったことなどから、目標額に比べ560万円削減が進みませんでした。継続的な戸別訪問や分割納付の指導などにより滞納額の削減に努めます。
奨学資金貸付金の滞納額の削減	未達成	1,640万円	1,780万円	140万円	返済が困難である非正規雇用者が増えたことなどにより、目標額に比べ140万円削減が進みませんでした。奨学生の実情に合わせ、返還計画の見直しを行うなど、収納の強化に努めます。

# 水道事業経営健全化計画の進捗状況

平成20年3月に策定した「水道事業経営健全化計画」は、水道事業の健全な経営を維持するためのものです。また、老朽化する施設や設備を更新し、将来にわたって安全安心な水を供給するための総合的な経営改善の指針とするものです。

計画期間は平成20年度から平成23年度までの4年間で、年度ごとに課題の進捗を公表します。今回は、平成21年度の進捗状況(一部抜粋)をお知らせします。なお、すべての進捗状況については、市ホームページに掲載しています。

## ◆平成21年度の進捗状況について

引き続き検討を要する事項もありますが、全体的にはおおむね計画に沿った健全な事業を実施することができました。主な課題の進捗状況については表のとおりです。

### 1. 健全で効率的な経営

#### ①健全な経営基盤の確立

項目	計画目標	平成21年度の進捗状況
適正な料金水準の確立(平成23年度の料金統一)	平成23年度の料金改定に当たり、新たな事業計画、財政計画に従い適正な料金水準を確立するとともに、利用者の負担を考慮して段階的な改定も検討します。	他の地域との料金格差が大きい日光・足尾・栗山地域について、平成21年度に料金改定を行いました。また、料金統一後の赤字を回避するため、値上げ地域や大口径使用者、少使用量世帯の負担軽減を考慮しつつ、基本水量の見直しも含めた料金体系の検討を行いました。

#### ②簡素で効率的な経営体制の構築

項目	計画目標	平成21年度の進捗状況
組織・事務事業の見直し	利用者サービスの充実に努める一方、現在の業務内容を抜本的に見直し、情報通信技術の拡大などにより簡素で効率的な組織を再編します。	日光と足尾の水道事務所を日光足尾水道事務所に、藤原と栗山の水道事務所を藤原栗山水道事務所として統合し、市民への窓口サービスや緊急対応は各事務所で継続することとしました。また、事務分掌の見直しにより、平成22年度から金額の大きい修繕は本庁対応とし、修繕担当係の増員を行うこととしました。

### 2. 安全で良質な水の安定供給

#### ①水質の安全性確保

項目	計画目標	平成21年度の進捗状況
直結・直結増圧給水の推進	直結給水・直結増圧給水の設計基準の見直しや条件の一部緩和により、可能区域の拡大を進めるとともに、直結給水の利点などについて広報活動を行い、利用拡大を図ります。	直結給水について、これまで3階建て以上の建物は困難との方針でしたが、管径や水圧を検討し、可能区域については3階建てまで許可することとしました。

#### ②計画的な施設の整備・更新

項目	計画目標	平成21年度の進捗状況
老朽管の更新	経年劣化の <sup>ちゅうてつかん</sup> 鋳鉄管や石綿セメント管などの管路を、耐震性に優れた管種で更新します。また、経年劣化が進む配水管の長期更新計画を策定し、効率的な更新を行います。	鋳鉄管や石綿セメント管の更新について、耐震性に優れた管種で1.9km実施しました。老朽管更新計画については、「水道事業総合基本計画」に基づき平成23年度に策定することとしました。

#### ③災害・事故対策の強化

項目	計画目標	平成21年度の進捗状況
漏水防止対策	水を無駄なく有効に利用し、漏水による道路陥没などの事故を未然に防止するため、有効な漏水防止対策を行い、計画的に漏水調査や補修工事を実施します。	漏水による無駄をなくし有収率を向上させるため、継続的に漏水調査を行い随時補修工事を実施しました。

水道事業経営健全化計画に関してくわしくは 水道課 水道総務係 ☎21-4532

## 財政健全化計画の進捗状況

※前ページ(イ. 歳出の抑制②)の続き

項目	達成状況	目標額	実績額	目標額との差	目標額と実績額に差が出た理由など
下水道会計の公債費の削減	達成	△1億 2,300万円	△1億 4,000万円	△1,700万円	国の公債費負担対策を活用して高金利の地方債を繰上償還し、低金利の地方債に借り換えたため、目標額に比べ1,700万円削減が進みました。

#### ③経常経費の総額抑制(削減指標：減額(△)の場合は達成)

項目	達成状況	目標額	実績額	目標額との差	目標額と実績額に差が出た理由など
物件費の削減	未達成	45億 6,700万円	50億 7,700万円	5億 1,000万円	追加経済対策として国庫補助を受けて実施した、消防職員・団員用災害活動用被服整備および子育て支援施設用備品整備や、指定管理施設の増加があったことなどから、目標額を5億1,000万円上回りました。経常的な経費については、今後も総額抑制を継続していきます。

#### ④補助金の整理合理化(削減指標：減額(△)の場合は達成)

項目	達成状況	目標額	実績額	目標額との差	目標額と実績額に差が出た理由など
補助金の削減	未達成	8億600万円	8億 3,600万円	3,000万円	自治公民館建設事業費補助金や中学校各種大会参加費補助金、自主防災組織育成補助金などが増額となったことから、目標額を3,000万円上回りました。引き続き、補助金の整理合理化方針を堅持していきます。

#### ⑤特別会計繰出金の抑制(削減指標：減額(△)の場合は達成)

項目	達成状況	目標額	実績額	目標額との差	目標額と実績額に差が出た理由など
国民健康保険事業の基準外繰出の削減	達成	6億 3,200万円	1億円	△5億 3,200万円	税率の見直しや医療制度改正による前期高齢者の医療費に係る交付金の増加などにより、目標額に比べ5億3,200万円削減が進みました。
下水道事業の基準外繰出の削減	達成	1億 4,000万円	1億 1,100万円	△2,900万円	計画策定時見込みより建設改良費が減額となったため、その財源である繰出金(基準外分)も、目標額に比べ2,900万円削減が進みました。
自家用有償バス事業の基準外繰出の削減	達成	1,700万円	1,600万円	△100万円	足尾JR日光駅線・唐風呂線の運行形態を見直した結果、バス利用者数と使用料がともに増加し、目標額に比べ100万円削減が進みました。
温泉事業の基準外繰出の削減	未達成	1,900万円	3,800万円	1,900万円	厳しい経済状況により、新たな滞納世帯の発生や大口利用者である旅館の支払いが滞ったことから、特別会計における温泉使用料の徴収額が計画を下回ったため、目標額に比べ1,900万円削減が進みませんでした。財政健全化のための検討委員会を設置して給湯事業の検討を行い、繰出金の削減を図ります。

財政健全化計画に関してくわしくは 財政課 財政係 ☎21-5162